

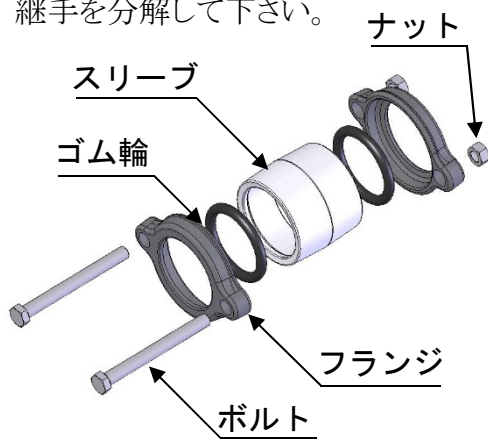
ドレッサージョイント 施工手順(50~200用)

標準位置 A寸メジャー 5 [cm] (管端側) 10

①

継手分解

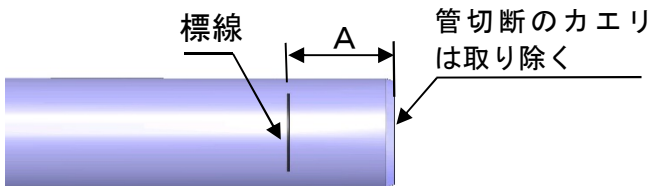
継手を分解して下さい。



②

標線記入

挿し口の清掃を行い、管端からA寸の位置に標線を記入して下さい。



■ A寸表

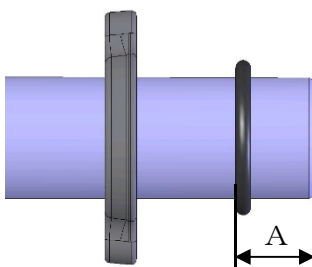
呼び径	塩ビ管	石綿管
50	45	35
65	50	—
75	50	40
100	55	45
125	60	45
150	65	50
200	70	60
許容差	±5	

③

部品挿入

管にフランジを通し、接合部管端をきれいに拭いた後、ゴム輪を**標線の位置まで**挿入して下さい。

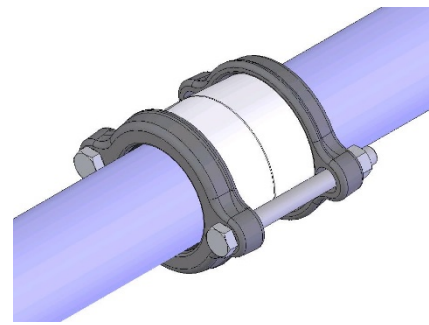
注) ゴム輪を挿入する際、**ねじれがない様**にして下さい。



④

仮締め

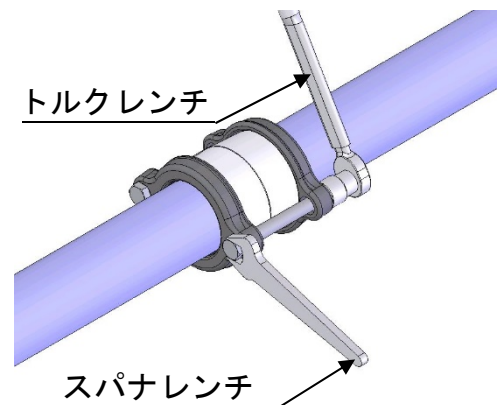
スリーブの両受口に管を挿入し、両側のフランジにボルトを通した後、フランジ・スリーブと接続管の**管軸を合わせて**、ナットを**手締め**にて仮締めして下さい。



⑤

本締め

ボルト・ナットを、**数回にわたり均等に本締め**して下さい。
(標準締付トルク表参照)



■ 標準締付トルク表

呼び径	標準締付トルク [N・m]		ボルト数	ボルトサイズ
	VP 石綿管	VH		
50~75	40	40	2	M16
100				
125		50	3	
150				
200	60	4	M20	

注) **過剰な締付トルク**での施工は漏水の原因となります。